

学習指導案 略案様式（特別の教科 道徳を除く）

6年2組		指導者	川原 正裕	教科等	国語科					
	単元名等	「筆者の工夫をとらえて読み、それをいかして書こう」 教材名 「『鳥獣戯画』を読む」「発見、日本文化のみりょく」								
	目標	評価規準	← ※どちらかを選択し、 で囲ってください。							
	知識及び技能	知識・技能	○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができるようする。 【知(1)ク】							
単元	思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようする。【思B(1)ク】 ◆目的に応じて、文章と意図などを結び付けるなどして必要な情報をを見つけたり、論の進め方について考えたりすることができるようする。【思C(1)ウ】							
	学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度	○論の進め方について考えたり、書き表し方を工夫したりして、学習の見通しをもって日本文化の良さを伝える文章を書こうとするようする。【学びに向かう力・人間性等】							
単元の学習展開（全〇時間）										
導入	□単元の学習計画を立てて、学習の見通しをもつ。									
展開	□絵と文章を照らし合わせながら読むことで、筆者のものの見方や、それを伝えるための工夫について気づいたことを、グループで伝え合う。									
終末	□日本文化の良さを伝える文章を書き、友だちと読み合う。									

本時 (6 ／全 時間) 10	ねらい	日本文化のみりょくについて、 <u>自分がいちばん伝えたいことは何かを考えたり、「何に」「どんなところに」心をひかれたのかを考えたりすることによって、</u> <u>決めた題材に関する情報を集めて、整理することができるようする。</u> 【◆思考・判断・表現 ワークシートの記述】
	学習過程	「めあて」 興味を持った日本文化について調べ、図や表にして整理しよう。
		「振り返り」 日本の素晴らしい文化を、たくさんの人々に伝えたい。伝えるための工夫として、高畠勲さんのような臨場感のある言葉を使ったり、資料を効果的に使ったりしたいと思った。
	努力を要する状況の児童生徒	【予想されるつまずき】 ・魅力的な日本の文化が見つからない。 ・図や表で整理できない。 【必要な支援・手立て】 ・日本の文化紹介動画を準備して見せる。 ・教科書311ページの資料を紹介する。